

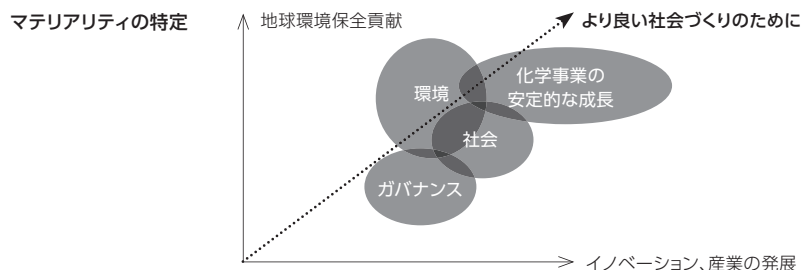
地球環境問題など、UBEグループが抱える諸リスク、グローバル社会の大きな潮流、120年を超えるUBEグループの歴史と現在の状況を踏まえ、UBEグループの持続的な成長に重要な影響を与えるマテリアリティ(重要課題)を特定し、重点的に取り組んでいます。

また、これらの取り組みを通じてSDGsに貢献していきます。

マテリアリティの特定

UBEグループのマテリアリティは、取締役会へ報告し、成長・環境 (E)・社会 (S)・ガバナンス (G)の4項目としています。

マテリアリティの特定に際しては、より良い社会づくりに資することを目的に、下記の2つの評価軸を採用しています。



UBEグループのマテリアリティ

マテリアリティ (重要課題)	UBEグループの取り組み	貢献するSDGs項目
成長 積極拡大事業^(注)を中心とした化学事業の成長	積極拡大事業を成長させ、事業全体における比率を高めていくことで、景気の動向に左右されず、安定的に成長できる体制の構築と利益率の向上を目指します。また、積極拡大事業は化学のスペシャリティ事業のようにGHG排出量の少ない事業が多いため、その比率が高まることによりGHG排出量原単位の引き下げ効果も期待できます。 (注) ナイロン、ファインケミカル、高機能コーティング、合成ゴム、ポリイミド、分離膜、セパレータ、マグネシア・カルシア、バイオマス燃料、資源リサイクル 詳細はP26-27、30-31、34-35をご覧ください。	   
環境 地球環境問題への挑戦	地球環境問題については、地球温暖化への対応、生物多様性保全、海洋プラスチックゴミ問題および水資源の保全と捉えており、なかでも特に取り組みを強化しているのは、地球温暖化への対応です。自社工場からのGHG排出量削減だけではなく、サプライチェーン全体におけるGHG排出量削減への継続的な取り組みにより、脱炭素社会の実現に貢献します。 詳細はP15-19、30-31、58をご覧ください。	   
社会 成長と革新を担う人材の採用と育成	UBEグループの中長期的な成長の原動力は、「人材」です。女性や外国人の活躍を推進し、また、さまざまな社員教育などを通じて、多様な価値観を認め合いながら、幅広い視野を持った人材を育成することで、事業環境の変化に迅速に対応し、持続的な成長につなげていきます。 詳細はP28-29、50-53をご覧ください。	
ガバナンス 経営基盤の強化	攻めと守りのガバナンスを強化するために、2018年度から2019年度にかけて、経営理念と経営方針の刷新、監査等委員会設置会社への移行、3カンパニー制への再編などを実施しました。これらの成果を追求していくことで、さらなる成長を支える経営基盤の強化に持続的に取り組みます。 詳細はP40-49をご覧ください。 なお、品質に関する内部統制の強化については、P13をご覧ください。	